



## 碧南の育ちっこ

碧南の育ちっこは、家庭でも、幼稚園・保育園や学校、地域で、のびのびと笑顔で過ごしている子どもです。子ども同士、家庭のなかや地域のなかでまっすぐな視線をもてるように、子どもの育つ基本的な場所である家庭を中心に、子どもの育ちを保つ意味での支援を推進します。さらに、家庭環境は子どもの成長と人間形成に多大な影響を及ぼすことから、家庭での子育て、親子の育ちを理解して子育てに関わる地域づくりも、碧南の子どもの育ちに大切です。

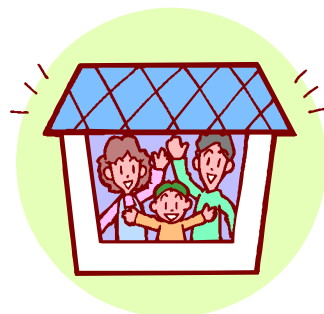
## 現状と課題

子どもの育つ場は家庭が基本であり、子どもたちは親といっしょにいられることが幸せの第一条件です。共働き家庭が増えるなかで、保育サービスの必要性が高まっていますが、社会にでていく力を少しずつ身につけるために、集団生活で学ぶことも必要なことです。

市内には公立・民間の幼稚園と保育園、無認可保育所があり、身近な場所で保護者が希望する保育を選択できるように、保育サービスの充実を図り、人数的にもサービス内容についても充実を図っています。また、放課後家庭で十分保護することができない小学校低学年の児童を預かる児童クラブは、7つの小学校区毎に設置しています。児童クラブの利用者は増加傾向で、弾力的な受入れに努めていますが、今後も利用児童の動向に対応した受入れ体制の検討が課題となっています。

このように、子どもの数がさほど増えないなか、保育ニーズはその家庭状況や子どもの状況・成長によって多様に変化するものであり、弾力性のある運営、サービスの量・質の充実を図る上で、碧南の子どもの育ちと将来像を描いた展開が求められます。

あわせて、市民が家庭環境や働き方を考える機会をつくり、親子の育ちを考える地域づくりに取り組むことも課題の一つです。



そだ  
育ちっこ

〔Ⅰ〕  
碧南の子どもを育てる

(1) 保育サービスの充実

- ①低年齢児保育 ②延長保育 ③休日保育
- ④一時預かり ⑤保護者に選ばれる保育園の仕組みづくり ⑥民間保育園への支援
- ⑦保育園の整備

(2) 幼稚園・保育園の新たな取り組み

- ①碧南の子どもの将来像をみすえたカリキュラムの検討 ②幼稚園・保育園のあり方の検討

(3) 児童クラブ運営の充実

(4) 保育料等の負担軽減

〔Ⅱ〕  
子どもが育つ家庭環境を考える

(1) 男女による子育ての推進

(2) 働きやすい職場環境づくり

- ①企業の子育て支援の啓発
- ②仕事をする力の養成支援



## 〔Ⅰ〕碧南の子どもを育てる

市内の14保育園と6幼稚園は、就学前の子どもたちが育つ大切な場所です。また、小学生低学年の放課後児童クラブの利用者も増加しており、保育ニーズの動向をとらえた適切な対応に努めます。あわせて、家庭での保育との調和、保育園と幼稚園の新たな連携、保育サービスの評価など、保育サービスの質を高めています。

### (1) 保育サービスの充実

#### ① 低年齢児保育

3歳未満の児童を公立6園、民間4園の保育園で受け入れており、受入児童数は増加しています。保育ニーズの動向をふまえながら、適正な受入れ体制の充実を図ります。

#### ② 延長保育

公立7園、民間4園で平常保育時間の8時間を超える延長保育に対応しており、最長19時まででは7園で実施しています。保育ニーズの動向をふまえながら、受入れ体制の充実を図ります。

#### ③ 休日保育

就労形態の多様化に対応するため、日曜日・祝日の保育を民間1園で実施しています。保育ニーズの動向をふまえながら、受入れ体制の確保に努めます。

#### ④ 一時預かり

育児疲れの解消、急病や短時間就労などの一時預かりとして、一時保育を民間2園で実施しており、うち1園は休日の一時保育を実施しています。意識調査等での保育ニーズを把握しながら、適正な受入れ体制の確保に努めます。その他に、子育て短期支援事業を平成16年度から3カ所で開催しており、病気回復期の保育（病後時保育）の導入を図り、産後うつなど育児支援が必要な状況に柔軟に対応できる保育体制の確保をめざします。

#### ⑤ 保護者に選ばれる保育園の仕組みづくり

家に近いことが保育先を選ぶ要点であることが意識調査からもわかりますが、現在の保育先に概ね満足していることもうかがえます。保護者に選ばれる保育園運営をめざして、平成14年度から各保育園で自己点検を実施しており、今後は第三者評価手法の導入とその活用を検討します。

また、公立幼稚園・保育園間の保育士、教諭の人事交流を促進するとともに、多様な保育内容に対応できる人材を育成するため、各種研修を行います。



## ⑥ 民間保育園への支援

平成 16 年度に民間保育園の役割、経営努力に応じた財政支援内容を見直しており、これに基づき適正な支援を行います。

## ⑦ 保育園の整備

施設の老朽化に伴う改築や耐震性の向上を図る必要のある保育園の整備を行います。

## (2) 幼稚園・保育園の新たな取り組み

### ① 碧南の子どもの将来像をみすえたカリキュラムの検討

各幼稚園・保育園でカリキュラムの内容確認に取り組んでおり、今後は、就学前の育ちの視点で、碧南市として基本となるカリキュラムの統合化に取り組めます。

### ② 幼稚園・保育園のあり方の検討

公立幼稚園・保育園のあり方については、国の幼保一体化施設の方向性などの動向をふまえ、各部局間で意見交換を行いながら多面的に検討します。

## (3) 児童クラブ運営の充実

全小学校に設置している児童クラブは定員 50 人を上回るクラブもあり、弾力的な受入に努めています。一方で、民間保育園で延長保育事業として実施していますが、今後もニーズの増大が予測されることから、放課後の子どもの安心できる居場所として、受入れ体制について再度検討し、適正な運営をめざします。

## (4) 保育料等の負担軽減

子育て家庭の負担感の強い保育料については、保護者に応分な負担を求めるとともに、子育て支援の推進を図る目的で平成 15 年度に通常保育料を引き下げており、現行の保育料の維持に努めます。児童クラブ利用料は、開所時間の延長、受入れ体制の見直しなどサービスの拡充とあわせて運営方法を検討します。



## 〔Ⅱ〕子どもが育つ家庭環境を考える

子どもが育つ基本の場である家庭において、親が子どもと向かいあって成長できるように、男女による子育て、育児と仕事・家庭の両立、調和のとれた働き方の見直しなど、子育て家庭と地域・事業所、子どもたちにも啓発し、家庭について考える機会を拡充します。

### （１）男女による子育ての推進

様々な場面で男女共同参画社会の形成にむけた取り組みが展開できるように、男女共同参画プランに基づき、フォーラムの開催など啓発活動を行います。

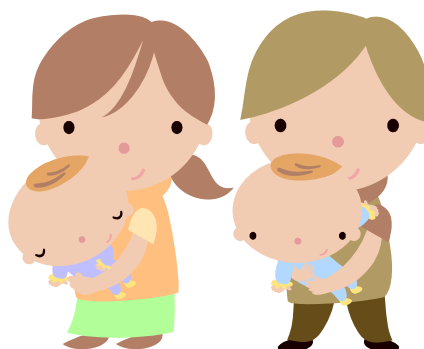
### （２）働きやすい職場環境づくり

#### ① 企業の子育て支援の啓発

国・県と連携して、広報活動と相談に関する周知活動を行っています。社会経済活動の長期低迷など難しい面があるものの、継続して取り組みます。

#### ② 仕事をする力の養成支援

国・県の実施している能力開発の講座の紹介を行いながら、今後は市内で能力開発の場の提供を検討します。



「育ちっこ」の主な取り組み・事業

〔I〕 碧南の子どもを育てる

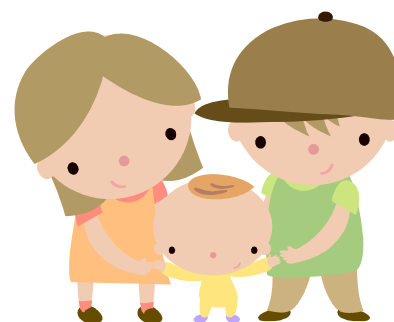
区分	施策・事業	計画期間(平成17年度～21年度)	
		取り組み方等	実施予定
<b>(1) 保育サービスの充実</b>			
①低年齢児保育		3歳未満児保育を公立6園、民間4園で継続実施。ニーズ把握と適正な受入れ体制の検討。	A
②延長保育		公立7園、民間4園で継続実施。19時までの延長は公立4園・民間4園で実施。ニーズ把握と適正な受入れ体制の検討。	A
③休日保育		民間1園(一時保育、児童クラブ対象児も対象とする)で継続実施。ニーズ把握と適正な受入れ体制の検討。	A
④一時預かり	一時保育	民間2園(1園は休日保育も実施)で継続実施。ニーズ把握と適正な受入れ体制の検討。	A
	乳幼児健康支援 一時預かり事業(病後児保育)	病院、保育園などの施設での病後児保育の実施。	B
	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)	児童福祉施設3カ所で継続実施。ニーズ把握と適正な受入れ体制の検討。	A
⑤保護者に選ばれる保育園の仕組みづくり	第三者評価の実施	全園で自己点検を継続実施。第三者評価を実施。	B
	人材の活用・育成	公立幼稚園・保育園の人事交流を推進する。また、多様な保育内容に対応できる研修を実施。	A
⑥民間保育園への支援		民間保育園の役割・経営努力に見合う支援体系に基づく民間4園の財政支援を継続実施。	A
⑦保育園の整備		耐震性の向上を図る必要のある公立2園、民間3園の耐震補強工事を実施。併せて、施設の老朽化、保育機能の多機能化に対応する改築も実施。	B
<b>(2) 幼稚園・保育園の新たな取り組み</b>			
①碧南の子どもの将来像をみすえたカリキュラムの検討	碧南の子どもの将来像をみすえた幼稚園・保育園のカリキュラムの検討	幼稚園・保育園それぞれのカリキュラムの調整・統合を促進。	B
	公立幼稚園・公立保育園のあり方の庁内検討	組織改革のなかで、一元化に向けての検討、担当課及び現場との意向調整。	A
②幼稚園・保育園のあり方の検討		国の動向をふまえ、総合(幼保一体)施設についての検討体制を確立。	C

※計画期間中の実施予定は、  
 A=継続して実施するもの  
 B=計画期間中に実施を予定するもの  
 C=計画期間中に実施検討・調査するものを示している。

区分	施策・事業	計画期間(平成17年度～21年度)	
		取り組み方等	実施予定
<b>(3) 児童クラブ運営の充実</b>			
児童クラブの運営の充実	全小学校区に設置。民間保育園2園でも延長保育事業として対応。開設時間等の拡大を検討。		A
<b>(4) 保育料等の負担軽減</b>			
①保育料の負担軽減	子育て経費の負担軽減を図るため引き下げた現行の保育料を維持。		A
②児童クラブの運営方法の検討	現在利用料は無料。今後、開所時間の延長等サービスの拡大と併せ検討。		C

## 〔Ⅱ〕子どもが育つ家庭環境を考える

区分	施策・事業	計画期間(平成17年度～21年度)	
		取り組み方等	実施予定
<b>(1) 男女による子育ての推進</b>			
男女共同参画社会の形成に向けた啓発	男女共同参画プランに基づき、フォーラム等の実施と、安心してうみ育てられる環境づくり、地域に支えられた子育てを主眼に全庁的に推進。		B
<b>(2) 働きやすい職場環境づくり</b>			
①企業の子育て支援の啓発	関係機関と連携し、広報紙に啓発記事の掲載と相談窓口の周知活動を継続して実施。		A
②仕事をする力の養成支援	(仮称)碧南市ものづくりセンターに能力開発機能の確保を検討。		B



♥ 育ちっこ以外の分野に関連する施策・事業 ♥

育ちっこの各施策・事業は相互に関連・調整を図っています。以下の表には育ちっこ以外の分野に関連する施策・事業を示し、相互に連携を図りながら推進します。

区分	施策・事業	分野を超えて関連する施策・事業
〔Ⅰ〕 碧南の子どもを育てる	(1)保育サービスの充実	健やかっこ 〔Ⅰ〕(2)育児相談・指導の充実 (3)心身の発達に遅れのある子どもへの支援 (4)子どもの成長にあった保健活動 〔Ⅱ〕(1)子どもの権利の保護と虐待など多様な問題への対応 やすらぎっこ 〔Ⅱ〕(1)地域で親子が過ごす場の確保 (2)子育てネットワークの活用 (3)保護・援助が必要な家庭への支援 〔Ⅲ〕(1)碧南の子育て・親育ち支援体系の構築
	(2)幼稚園・保育園の新たな取り組み	やすらぎっこ 〔Ⅱ〕(2)地域で親子が過ごす場の確保 〔Ⅲ〕(1)碧南の子育て・親育ち支援体系の構築 (2)碧南を思う次世代の育成
	(3)児童クラブ運営の充実	健やかっこ 〔Ⅱ〕(2)大人が子どものことを知る 輝きっこ 〔Ⅰ〕(2)地域で遊ぶ機会の拡充 〔Ⅱ〕(2)学校教育の充実 (3)子どもたちの活動と健全育成活動の推進 やすらぎっこ 〔Ⅱ〕(3)保護・援助が必要な家庭への支援 〔Ⅲ〕(1)碧南の子育て・親育ち支援体系の構築
	(4)保育料等の負担軽減	やすらぎっこ 〔Ⅱ〕(3)保護・援助が必要な家庭への支援育
〔Ⅱ〕 子どもが育つ家庭環境を考える	(1)子どもの権利の保護と虐待など多様な問題への対応	健やかっこ 〔Ⅱ〕(1)子どもの権利の保護と虐待など多様な問題への対応 (2)大人が子どものことを知る 輝きっこ 〔Ⅰ〕(2)地域で遊ぶ機会の拡充 やすらぎっこ 〔Ⅲ〕(1)碧南の子育て・親育ち支援体系の構築
	(2)大人が子どものことを知る	健やかっこ 〔Ⅱ〕(2)大人が子どものことを知る 輝きっこ 〔Ⅰ〕(2)地域で遊ぶ機会の拡充 やすらぎっこ 〔Ⅲ〕(1)碧南の子育て・親育ち支援体系の構築

